

輝け若者たち～ゴールデンターキンの誕生と成長～

太田 真琴

(よこはま動物園)

アジア東部の山岳地帯に局所的に分布するウシ科のターキン(*Budorcas taxicolor*)は国際自然保護連合が危急種として指定している希少動物であり、中華人民共和国も国家一級重点保護野生動物に指定して保護管理を行っている。そのうちゴールデンターキン(*Budorcas taxicolor bedfordi*)は中華人民共和国の秦嶺山脈に分布する亜種であり、生息数は約 5000 頭と見積もられている。日本国内では 2022 年 3 月現在よこはま動物園を含む 3 園館のみで飼育されており、国内での飼育園が協働して繁殖に取り組む必要がある。

よこはま動物園では 2019 年にゴールデンターキンの繁殖が 2 例あった。双方の事例とも出産準備として寝室内にウッドチップと乾草を新生児のすべり止めとして敷き詰め、授乳を拒んだときのために人工初乳を用意した。また、展示場での出産を避けるため出産予定日の 2～3 週間前は妊娠個体を非展示とした。

2019 年 2 月 22 日に出産した No.6: 雌は春機発動時に妊娠し、255 日で出産した。出産後子は一時開脚状態となったが、その後無事成長した。2019 年 12 月 21 日に出産した No.4: 雌は通常の繁殖期より早い 4 月に妊娠し、250 日で出産した。出産直後授乳を拒んだため、子には人工初乳を哺乳したが、その後子を受け入れ無事に成長した。

子は 2 頭とも近似のタイミングでの採食開始や排便状態の変化があったが、角の萌出や体重変化など成長状態には相違が見られた。